

## シンガポール発日本クルーズ乗船記(3)

### 「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」がシンガポール出航

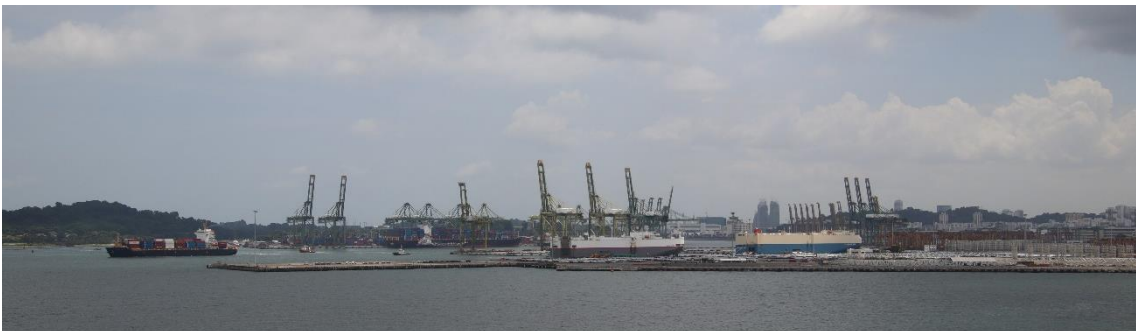
2023-8-1 池田良穂

7月31日の昼にホテルをチェックアウトして、マリーナベイ・クルーズターミナルに向かいました。物価の高いシンガポールですが、タクシーは料金が安く便利です。クレジットカードでの支払いもできるので、現地通貨をもっている必要も必ずしもありません。15分ほどで到着して、料金は1200円ほどでした。

ターミナルでタクシーを降りてスーツケースを預けて、チェックインの列に並びました。12時半くらいの時間帯ですが、既に乗船者の長い列ができていてだいぶ待たされました。チェックインの窓口にたどり着いても、手続き作業にもかなり時間がかかっており、半年前のシンガポールでのクルーズ乗船時、そして先月のイギリスでの乗船時のスムーズなチェックインとはだいぶ印象がかわりました。担当してくれた年配の女性はなかなか作業が進まずに、ようやく終わっても手渡すべき書類を渡さずに、ゲートで止められて書類のプリントアウトを待つことになりました。人によってチェックインの所要時間も大きく変わるようでした。

ようやく乗船すると、船員が「チェックインはしたか」との質問。チェックインをしてようやく乗船できたのになんのことか分からずに押し問答が続いた後、避難訓練のアセンブリー・ステーションでのチェックインのことだと分かりました。部屋でテレビかスマホで避難訓練のビデオをみてから、避難経路を確認しながらステーションまで行ってチェックインをしようと思っていたので意外だったのですが、後で「クルーズコンパス」を確認すると、筆者が思っていた通りの説明が書いてありました。案内する船員は、乗船直後にすぐにチェックインをしてもらえば漏れが少なくなると考えての対応だったと思いますが・・・。

さて、今回予約した部屋は12階左舷のベランダ付きの部屋でした。左舷側にしたのは狭水道や港内での反航船の撮影をするためです。出港後、シンガポール海峡を通過する時には、この左舷側ベランダが大いに役にたちました。



部屋のベランダからシンガポール港がよく見えました。旧のコンテナターミナルで、だいぶ再整備が進み、一部は

PCC のターミナルになっていますが、コンテナふ頭の一部分が今もコンテナ荷役のために使われています。



サンデッキから右舷側を見ると、マリーナサウスピアの船溜まりに停泊するたくさんの通船の姿が見えました。



シンガポールの海岸線に沿って並んで錨泊する種々の貨物船・作業船です。



泊地の中に1隻の大型コンテナ船が入ってきて錨を下ろしました。続いて給油船がやってきて接舷して、燃料油の補給を始めました。船舶への給油も大事な商売になっているようです。



港内には錨泊する船に荷物を届ける船がたくさん稼働していました。いわゆるシップチャンドラーもシンガポールでは大きな産業となっているようです。



中には木造船らしき小型船も健在でした。



大型のクルーズ客船はタグボートをほとんど使いませんが、「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」の出港時には船尾に1隻のタグボートが付き、ロープをとって牽引作業をしていました。



シンガポールのクルーズターミナルを離れて、シンガポール海峡に乗り出しました。





左舷側には錨泊するたくさんの船の姿が見えました。



パイロットボートがやってきてパイロットが下船すると、船は、いよいよシンガポール海峡の東向きの航路へと進みます。



西向きの航路を一系列縦隊で進む貨物船の前を横切って、東向きの航路へと進みました。



一系列縦隊だと思ってましたが、横切ってみると結構な幅をもって並進していたことが分かりました。



LNG 燃料のタンカーのようです。LNG 燃料タンクが 2 つデッキ上に設置されていました。



LNG 燃料は CO2 排出を原油に比べて 25~30%削減することができるため、LNG を燃料とする貨物船も急激に数を増し、LNG 燃料であることをアピールするようになっています。



海峡を警備する軍艦と反航しました。



台湾のエバーグリーン社の超大型コンテナ船「エバー・トゥールース」と反航しました。



日没まで船上からのシップウォッチングを楽しみました。



中央が3層吹き抜けになったメインダイニング。二人掛けのテーブルは全体としてみると意外に少なく、20時からの筆者のセカンドシットアップのテーブルも6人席でした。欧米でのクルーズに比べて、中国系の乗客は大家族で乗船することが多く、多人数テーブルが多く用意されているように思います。ちなみに、最初のディナーには、ファーストコースにエスカルゴとシーザーサラダ、アントレにはニューヨークステーキを選びました。食後のシアターでのショーは、21時45分からマジックショーでした。

いよいよ、12日間の日本までのクルーズです。ベトナムのニャチャン、香港、基隆、神戸、清水に寄って横浜まで行きます。